



第2回置賜切れ目ない支援連携協議会

R7.2.13

(兼)第2回不登校児童生徒の自立支援に係る地区ネットワーク会議

特別な支援を必要とする子ども達に対する就学前から社会参加までの切れ目ない支援と義務教育段階における不登校児童生徒の社会的な自立を目指し、市町教委、福祉部局、各教育機関、医療分野、民間支援団体が一堂に会して協議しました。「顔の見える関係づくり」が連携の第一歩となります。「誰が、どこで、どのようなことしているのか」知ること、必要なときに行える支援の幅が広がります。子ども達の困り感に寄り添い、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、次年度もさらに連携を深め、子ども達に寄り添った支援ができるようにしていきたいと考えます。

当日は、参加者から事前に集約した課題の中から協議の視点をいくつか設け、グループで協議しました。そこで、共通で見えてきたキーワードは、“支援者を支援する”ことです。支援を必要とする子どもだけではなく、保護者や担任など支援をしている側に対しても各関係機関が連携を図り、包括的に長期的な視点を持ち、支援をしていくことが必要と話題になりました。



保護者支援で大切にしたいこと

保護者が障がいを受容するには時間がかかります。それを踏まえ、本人・保護者が納得して就学先や多様な学びの場の検討が行えるよう、丁寧に、適切に支援していきましょう。その際、保護者とその子の困り感を共有し、同じベクトルを向いていることが、スムーズな支援につながります。これまでの教育相談等の成果を生かし、誰が、どのようにアプローチをしていくのか十分に検討していきましょう。

また、障がいの理解促進や引継ぎの際には、「やまがたサポートファイル」の活用が有効です。これまでの記録や現状、教育相談結果などを本人・保護者が各関係機関へ安心してつないでいけるよう、その有効性の周知、活用をお願いします。

担任や園・学校の支援で大切にしたいこと

困り感のある児童生徒に対して、担任が一人で抱え込むことがないよう、校内の支援体制をさらに充実させていきたいものです。困難さが多様化し複雑化する現在、家族の支援を園や学校だけで行うには難しい時があります。SCや福祉、民間支援団体や、行政機関がいつでも支援できる体制を双方向に働きかけ整備していきましょう。

参加者の感想から

(園関係者) 保護者と信頼関係を築くためには丁寧に時間をかけていく必要があり、そのうえで支援をしていくことが大事と学びました。支援が必要な子もそうでない子も共に生活できる社会を目指すには、多くの方が関わりつながりあっていくことが大切です。園で構築したネットワークを、さらに子どもを中心としたものへと広げていきたいです。

(民間支援団体の方) 様々な関係機関の方々と意見を交換できる機会は大変ありがたいです。よりよい支援が継続的に行えるように、より理解を深め、地域全体で切れ目ない支援が提供できるようになればよいと考えます。今後も、子どものライフステージを念頭に置きながら、より適切な支援をしていきたいです。

(福祉関係者) 早期支援の重要性を考えると、ネットワーク会議は、引き続き連携を強化していく必要があると思います。本日は参加者の方々からのご意見や現状を聞くことができ、大変学びの多い時間となりました。実践や取組の実践発表の機会があると、さらに共有できることが増えるように思いました。

(学校関係者) 不登校が危惧される児童には、メディアに依存し、睡眠時間が不十分な傾向がみられます。その状況をコントロールし、改善していくのはとても難しいです。外部の方からの専門的なアドバイスにより、対応策が見えることも多いため、関係機関等と密に事業を共有するなどし、ネットワーク構築に努めていきたいです。

R7 置賜教育事務所における

研修会のお知らせ



第1回置賜地区いじめ・ 不登校防止連絡協議会

- ◇期日 5月22日(木) PM
悉皆 集合型
- ◇講師 神田外国語大学
客員教授 嶋崎 政男 氏
- ◇テーマ「初期対応とチーム学校の
機能強化」

教育相談関係連絡協議会

- ◇期日 7月4日(金) PM
集合型
- ◇講師 会津短期大学
准教授 木村 淳也 氏
- ◇テーマ「スクールソーシャルワーカー
の役割と支援の在り方」(仮)

第2回置賜地区いじめ・ 不登校防止連絡協議会

- ◇期日 10月1日(水) PM
悉皆 オンライン型
- ◇講師 和歌山大学
教授 米澤 好史 氏
- ◇テーマ「愛着形成の理解を深め、
支援に生かす」

幼保小接続推進のための研修会

- ◇期日 10月31日(金) PM
オンライン型
- ◇講師 山形大学 学術研究院
教授 野口 徹 氏
- ◇テーマ「幼保小の円滑な接続について」

講師が決定している研修会のみ掲載しました。

先生方一人ひとりの研修機会の確保とともに、学校課題解決に向けて、研修をご活用いただけたら幸いです。



特別支援教育研修会

- ◇期日 6月5日(木) PM
オンライン型
- ◇講師 大阪市立大空小学校
初代校長 木村 泰子 氏
- ◇テーマ「『みんなの学校』に学ぶ校内の
組織づくりについて」(仮)

学びの未来共創研修会

- ◇期日 7月7日(月) PM
校長：悉皆 集合型
希望者：オンライン型
- ◇講師 文部科学省 初等中等教育局
教育課程課長 武藤 久慶 氏
- ◇テーマ「次期学習指導要領を見据え、
学びの未来を考える」

第2回資質・能力向上研究協議会

- ◇期日 10月27日(月) PM
集合型
- ◇講師 東京学芸大学 教職大学院
教授/学長特別補佐
堀田 龍也 氏
- ◇テーマ「ICTを効果的に活用した
授業改善について」(仮)

令和7年度4月に「誰一人取り残さない授業づくりに向けて」の参考資料NEWバージョンを各学校にお届けします。職員室で日々の授業づくりについて、ワイワイと語り合う(対話する)一助としてご活用ください。

令和6年度「情報おきたま」をお読みいただき、ありがとうございました。令和7年度も「置賜の先生方が読みたくなる」をモットーに発行してまいります。来年度もよろしくお願ひします。